



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



第1158回例会 2015年4月1日 No.1127号

■ 会長時間



会長 渡部 邦昭

こんにちは。お元気ですか。「今日は」ではじまるのが日本の国の日本人の挨拶のだそうです。河本浩一様に例会卓話で教えていただきました。(広島北ロータリークラブ会長、職業分類・作家)それ以来、夜の例会であっても「今日は」からはじめております。よろしくお祈いします。さて、本日は桜が満開です。私は昨日、朋子さんと夜桜を少し楽しんでできました。皆様は桜を花見しましたか。まだ遅くないのでしっかり楽しんで下さい。本日は、エイプリルフールです。嘘をつくのが許される日です。しかし、英国では嘘をつくのが許されるのは正午までだそうです。今は午後6時30分を過ぎましたので、英国の慣習では嘘をつくことは許されません。皆さん、お気を付け下さい。それと、当クラブの愛谷俊治会員(お立ち下さい。)は今年、80歳、傘寿を迎えられます。愛谷さんは、チャーターメンバーとして24年にも渉り、初代の二宮義人会長とともに広島陵北ロータリークラブを牽引して下さいます。これからも末永く、例会に出席して下さい、当クラブを見守り続けて下さい。もうひと方、大旗健さん、おられますか。お立ち下さい。大旗さんは、今年古稀を迎えられます。大旗さんもチャーターメンバーとして、創立以来、広島陵北ロータリークラブを牽引して下さいました。「人生70年古来希なり」といわれますが、これからも、末永く当クラブの飛躍のために力を貸していただきたいと思ひます。人間の平均寿命は、かつては、「人生50年」でした。織田信長は、明智光秀の謀叛により本能寺の変で果てました。1582年6月21日のことでした。そのとき信長は「人生50年天下の内に比ぶれば夢幻の如くなり」と能を舞ったといわれています。当時は、人の平均寿命は約50歳でした。この傾向は江戸時代でも変わらず明治初期まで続きます。その原因は疫病と餓死が絶えることがなかったからです。前回の例会卓話で、森中祥二会員が「野口英世に学ぶ」というテーマで話をしてくれました。(お立ち下さい。)野口英世は、1876年に生まれ、1928年に亡くなっています。英世は、伝染病(感染症)の研究に大きな貢献をなされた方です。英世の研究によってワクチンが開発されたりして疫病は克服されました。また、産業革命により農業生産が飛躍的に高まり、食糧の備蓄が進んだために飢饉により餓死することはなくなりました。それで、明治前半から急激に人の平均寿命が伸びていったのです。いまや、男女とも平均寿命は80歳を超えています。医学の進歩は止まることはありません。これからも平均寿命は伸び続けるのではないのでしょうか。愛谷さんの傘寿、大旗さんの古希、さらに野口英世の功績を振りかえりながら、命と健康について考え、ロータリーの人道的援助へと思いを巡らせていただき、本日の同伴夜間例会を爽やかなものとしていただければと思ひます。本日の会長時間は以上で終わります。

今回の例会(4月8日)

新会員歓迎夜間例会

次回の例会(4月15日)

ゲスト卓話
大竹ロータリークラブ
日域 学様

出席報告

(例会運営委員会)

4月1日(水)出席者

会員総数	56名	ご夫人	13名
出席会員	42名	ご家族	0名
欠席会員	14名		

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
 【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/> 【FAX】082-221-4870

お花見夜間例会並びに懇親会(1/2)

今年度のお花見夜間例会並びに懇親会は、会員のご家族の方をお迎えし、料亭二葉で行いました。最後は「手に手つないで」で懇親会を締めくくりました。

<会長乾杯>

本日のお花見夜間例会は、パートナーの方とともに親睦を深め、ロータリー活動に対する理解を深める場としていただきたいと思います。それでは、広島陵北ロータリークラブの発展とご出席の皆さんのご多幸を祈念して乾杯したいと思います。ご唱和をお願いします。
かんぱーい。



尺八奏者 免出隆山 様



琴奏者 免出恵子 様



山田会員とセッション(2曲目「荒城の月」)



お花見夜間例会並びに懇親会(2/2)



<奏者プロフィール(尺八、琴)>

免出 隆山(めんでりゅうざん) 様

尺八界では二つの大きな流派、都山流(とざんりゅう)と琴古流(きんこりゅう)があり、都山流では日本尺八連盟において大師範免状を取得し、他方の琴古流では世界的巨匠、横山勝也に師事し、国際尺八研修館において師範免状を取得。現在はRCC文化センターで講師を務めるほか、後進の指導育成を行う。

免出 恵子 様

生田流箏曲を若岡史子(ふみこ)に師事し、沢井箏曲院では教師免状を取得。現在は自宅教室で後進の指導育成を行う。

(演奏曲目)

1. 鳥のように(箏独奏) 沢井忠夫 作曲(10分)
2. 荒城の月(箏尺八歌) 滝廉太郎 作曲(3分)
3. 鶴の巣籠もり(尺八独奏) 古典(4分)
4. 惜春(箏尺八二重奏) 横山勝也 作曲(10分)
5. 春の海(箏尺八二重奏) 宮城道雄 作曲(8分)